

令和5年度第6回 感染症発生動向調査協議会  
議事要旨

1 日 時 令和5年9月20日（水） 14:00～

2 場 所 岐阜大学医学部本館 1階 応接室（岐阜市柳戸1-1）

3 出席者

委 員 : 馬場 尚志（岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター センター長）

大西 秀典（岐阜大学大学院医学系研究科 小児科学 教授）

澤田 明（岐阜大学医学部附属病院 眼科 臨床准教授）

加藤 達雄（国立病院機構長良医療センター 副院長）

オブザーバー : 臼井 啓介（岐阜市保健所 感染症対策課）

事 務 局 : 八代 英彦（感染症対策推進課 管理監）

汲田 淳（感染症対策推進課 感染症対策第二係長）

可知 正行（感染症対策推進課 主任技師）

今尾 幸穂（保健環境研究所 疫学情報部長）

岡 隆史（保健環境研究所 主任専門研究員）

4 議 題（進行：馬場委員）

- (1) 前月の感染症発生動向について
- (2) 検討すべき課題について
- (3) 情報提供すべき事項
- (4) 情報提供（月番委員専門分野から）
- (5) その他（感染症対策推進課から）

5 議事要旨

【前月の感染症発生動向について】

- ・事務局からの説明は資料のとおり。
- ・月番委員のコメントについては資料のとおり。

【検討すべき課題について】

○COVID-19の定点調査からの県民・市民への情報提供・フィードバックについて（注意報、警報）  
（委員から）

- ・県民がどのような状況で、どのような情報を求めているのか、またその際にどのような形で情報提供すべきなのか、できるだけ早く方針を検討すべきと思います。

○インフルエンザの定点調査（値）の解釈について（流行入り、終息基準値の意義）

（委員から）

- ・「流行入り」や「終息」等は、本来は通常の流行シーズンに当てはめられる指標であり、今シーズンに適用できるかどうかははっきりしないように思います。

- ・注意報や警報などのインフルエンザに関する各種指標については、受験や重要な仕事、基礎疾患を持った家族の存在など、一般の方が自分自身の感染予防行動を取るべき状況か否かの指標として大いに参考にされてきた面が有ると思います。COVID-19についても、医療ひっ迫の程度などを指標とするのではなく、各県民にとって参考となるよう、インフルエンザと同様に考えても良いのではないかと、個人的には考えています。